TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

これが神のやり方-神さまが計画された救いの方法 -

ローマの信徒への手紙 1章 8-17節

2026年5月16日 & 17日

余沢 武 牧師

I. イントロダクション

皆さん、こんにちは。TBC のメンバーの方は、5 月 30 日・31 日のファミリーギャザリングで承認予定の予算案を、すでに受け取っておられると思います。もし当日出席できない場合は、今日でも結構ですので、不在投票の提出をお願いします。項目を記入して、献金かごに入れてください。

礼拝堂建設についてインパクトビルディングプロジェクトの最新情報です。皆さんの心からの支援を感謝いたします。現在 3 億 850 万円、つまり献金目標の 66.8%まで達成しています。そして今月、もし 1 億 5 千万円の積立金のうち 1 億円をインパクトビルディングプロジェクトへ移すことが承認されれば、合計は 4 億 850 万円となり、献金目標の 88.5%に達することになります。

もし皆さんが、平均して一か月に 1 万円ずつ献げてくだされば、12月か1月には目標額に到達する見込みです。平均してと言ったのは、主からのそれぞれの祝福のあり方によって少ない額を献げる方ももっと多くを献げられる方もおられるからです。インパクトビルディングプロジェクト献金の際には、専用の封筒を使うことを忘れないでください。今年建設を始めることができるよう祈りましょう。

今日は、引き続きローマ人への手紙のシリーズを見ていきます。パウロはこの手紙をローマの教会に宛てて書きました。当時その教会の多くは異邦人のクリスチャンでした。この福音を通して、神が与えようとしておられるいのちをどのように経験していけるのかを教えるために、この手紙を書きました。

それではまず、祈りしましょう。

II. 正しい者は信仰によって生きる

(1) 信仰を励ます

ローマの信徒への手紙 1:8 を見ましょう。「[8] 初めに、私は、イエス・キリストを通して、あなたがた一同について私の神に感謝します。あなたがたの信仰が世界中に語り伝えられているからです。」

1 世紀のローマの歴史家スエトニウスによると、西暦 41 年と 49 年に、ローマ皇帝クラウディウスはローマからユダヤ人たちを追放しました。その理由は、「クレストゥス」に従う者たちによって騒動が起こされたからだと言われていますが、学者たちは、この「クレストゥス」とは「キリスト」を指していると考えています。この出来事を通して、ローマのクリスチャンたちの信仰は広く知られるようになりました。

9 節-12 節です。「[9] 私が御子の福音を宣べ伝えながら心から仕えている神が証ししてくださることですが、私は、あなたがたのことを絶えず思い起こし、[10] 祈るときにはいつも、神の御心によって、何とかいつかあなたがたのところに行く道が開かれるようにと願っています。[11] あなたがたに会いたいと切に望むのは、霊の賜物をあなたがたに幾らかでも分け与えて、力づけたいからです。[12] というよりも、あなたがたのところで、お互いに持っている信仰によって、共に励まし合いたいのです。」

パウロは、「霊の賜物をあなたがたに幾らかでも分け与えて、力づけたい」と言っています。これは聖霊が関わっています。そして彼らは「お互いに持っている信仰によって、共に励まし合う」ことでしょう。

弟子訓練の方法には二つあります。全ての両親や聖書の先生に知っておいて欲しいことです。

一つ目は、聖書の知識を増やし従順を教えることです。知識を増やしたり、従順を強要することに聖霊は必要ないのでこれはクリスチャンでない人でもできてしまいます。しかし、これはパウロが求めていたことではなく、真の人間の性質の変化は起きません。

もう一つは、神に寄り頼み日々の QT(神様と過ごす聖書と祈りの時)や祈りを通して、謙遜と信仰のうちに神と共に歩むことを教えることです。人が神に頼り、神と共に歩むことを学ぶとき、考え方がかわり、話し方が変わりそして行動が変わっていきます。私たちはその人達のうちに聖霊の働きを見るでしょう。

私たちは畏敬の念を抱き、励まされるでしょう。私たちは神を賛美するでしょう。これが、パウロが望んでいる「霊の賜物を幾らかでも彼らに分け与えて、力づける」そして「お互いに持っている信仰によって、共に励まし合う」ということなのです。

(2) 福音を告げ知らせる

13 節-15 節です。「[13] きょうだいたち、ぜひ知っておいてほしい。ほかの異邦人のところと同じく、あな

たがたのところでも、何か実りを得たいと望んで、何度もそちらに行こうとしたのですが、今まで妨げられているのです。 14 私には、ギリシア人にも未開の人にも、知恵のある人にもない人にも、果たすべき責任があります。15 それで、ローマにいるあなたがたにも、ぜひ福音を告げ知らせたいのです。」

「果たすべき責任がある」とはギリシャ語では「私は負債を負っている者だ」という意味です。パウロは、自分はギリシャ人にも未開の人にも、つまりすべての異邦人に対して借りがある、と言っています。

私たちが負債を負うには二つの方法があります。

一つは他人からお金を借りることです。もしも私があなたから 1000 円借りたなら私はあなたに対して負債を負っていることになります。

もう一つは、誰かに渡すためのお金を、別の人から与えられることです。

もしもあなたの友人があなたに渡すために、私に 1000 円を渡したとします。そのお金を私が持っている限り、私はあなたに対して負債を負っていることになります。

パウロは、ローマのクリスチャンたちから何も借りていませんでした。しかし、イエスが彼らの救いと回心のための「福音の教え」をパウロに与えておられました。そのために、パウロは彼らに対して負債を負っていたのです。

もし神が皆さんに賜物を、人々が神により頼み神と共に歩みそして神によって変えられていくのを助ける「福音の教え」を与えておられるのなら、皆さんは素晴らしい賜物を受け取っています。しかし皆さんは周囲の人々に対して借りがあるのです。パウロは「私には借りがある、人々に福音の教えを伝える責任がある」と言っています。

16 節です。「16 私は福音を恥としません。福音は、ユダヤ人をはじめ、ギリシア人にも、信じる者すべてに救いをもたらす神の力です。」

パウロは人々から軽蔑されたりすることがあっても、伝道し続け福音を伝え続ける、福音のために、そしてその福音そのものが「神の力」であると言います。その福音が聞く人に届くとき神の力がその人の上に働き、そしてその人が信じるとき、その人は変えられる、また救われます。 私たちは人々に伝え続けるのは…この世界を創造された神がおられる。神は愛し、優しく、親切で聖い方です。そして私たちを神の手足として、この世界と周囲の人々を愛し気遣うために造られました。

しかし、その目的を果たす代わりに私たちは、不道徳で、貪欲で、自己中心で、高慢になり、他の人々を、自分の家族でさえも、自分勝手に不当に扱いました。これは「罪」と呼ばれています。私たちは神から離れ、この世界を救うためには、取り除かれるか滅ぼされるしかありませんでした。

しかし愛情深い神はご自身のご性質に反することなく、私たちを滅ぼすことが出来るでしょうか。これがその方法です。

神は、人の体をもってこの世に来られ、私たちが自身のために生きるべきだった、愛に満ち、優しく、親切で、聖い人生、つまり正しい生き方をされました。それがイエスです。

イエスは、私たちの罪をご自身で背負い、私たちの誤った生き方の影響で、その罪に対する死の刑罰をご自身で受けました。三日目に蘇られ、そして私たちにご自身の死と私たちの死を、そしてご自身の正しい命は私たちの正しい命であることを受け入れるように命じられました。

私たちがへりくだってそれを受け入れるとき、私たちの罪は赦されます。そしてイエスの正しい命から神の義に覆われます。そして、聖霊が私たちの内側から、神の正しい命を生きることを助けてくれます。
私たちは愛に満ち、優しく、親切で、聖い神の子どもへと完全に変えられていきます。

パウロは言います、「私は福音を恥としません。なぜならこれが救いをもたらす神の力だからです。」そして「人々の人生」を完全に変えるでしょう。

17 節です。「17 神の義が、福音の内に、真実により信仰へと啓示されているからです。「正しい者は信仰によって生きる」と書いてあるとおりです。」

こうして今、「神の義」が啓示されています。
私たちにとって正しい者になるため唯一の方法があります。 自分の罪を認め、その義によって私たちを覆ってくださるイエスの内に信頼をおくのです。そしてこれからは「正しい者は信仰によって生きる」のです。

なぜ、パウロはこのことをローマのクリスチャンたちに語っているのでしょうか。それは彼らには、信仰によって生きることをやめ、「イエスの義」に信頼をおくことをやめ、自分自身の自信を自分の正しさにおき、

神がイエスによって彼らに与えられたクリスチャンとしての生き方を失う可能性があったからです。

質問です。私たちが「信仰によって生きている」のかどうかは、どうしたら分かるのでしょうか？「イエスの義」に信頼しているのか、それとも、「自分自身の正しさ」--神の命令に従おうとする自分自身の努力--に信頼しているのか。

これは、パリサイ人たちがやったことでした。彼らは、聖書の戒めを細かく分析し、実行しやすい適用に分解し、膨大なチェックリストを作り上げました。彼らは、すべてのチェックボックスを埋めていくことで、自分たちは義なる者になれる---　戒めに従うことで。

私たちも、同じ罠に陥ってしまうことがあります。道徳的な行動のチェックリストを作り、どれだけ項目を達成できたかで、クリスチャンとしての成熟さを測ろうとしてしまいます。問題は、イエスによれば、神は心見ておられるということです。本当の義は、「正しい心」からしか生まれません。
「心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛する心」
「自分を愛するように隣人を愛する心」

一人の金持ちの青年がイエスに、十戒を守ることによって、自分は「神を愛し」「隣人を愛している」と言いました。言い換えれば、彼は全部チェックボックスをチェックしているということです。イエスは彼に「あなたには、まだ一つ欠けていることがあります。持っているものを全部売り払い、貧しい人たちに分け与えなさい。…そして、わたしについて来なさい」と言われました。

持っているものをすべて人に与えたいと願う人になることが、彼が本当に隣人を愛するために必要でした。何も持たずにイエスに従っていくことが、彼が本当に神を愛し神を信頼するために必要でした。彼にはそれができませんでした。

私たちにはできるでしょうか？いいえ。私たちがもしこれを考えるようであれば、実際の私たちより良い人間かもしれません。イエスは言われています。

人を情欲をもって見るなら、心の中ですでに姦淫を犯している。

誰かに怒りを抱くなら、心の中ですでに人殺しをしている。
イエスは言っています、認めなさい、あなたは罪人だと。チェック項目を埋めたかではなく、これは心の問題なのです。

だからこそイエスは、ルカ 18 章でパリサイ人と取税人のたとえ話を語られました。その中で、イエスは、あるパリサイ人と取税人が、祈るために神殿へ上って行ったと言われました。

パリサイ人は言いました。**「神様、私はほかの人たちのように、奪い取る者、不正な者、姦淫する者でなく、また、この徴税人のような者でないことを感謝します。私は断食し、什一献金を献げています…。」**

取税人は遠くに立って、目を天に上げようともせず、胸を打ちながら言いました。「神様、罪人の私を憐れんでください。」

イエスは「その日 義とされて家に帰ったのは取税人だけだった」と言われました。なぜでしょうか。彼は、自分には何一つ誇れる義がないことを知っていたからです。そして、ただ神の憐みに頼っていました。正しい者は信仰によって生きています。

ローマのクリスチャンたちの中にも、「自分はこれをしている」とか「あれはもうしていない」ということを理由に、自分たちのほうが優れたクリスチャンだと思い、ほかの人を見下している人たちがいたのでしょう。パウロは、彼らに「より優れたクリスチャン」というものは存在しない、もしかしたら、よりへりくだったクリスチャンは存在する、ということを知ってもらいたいと思っていました。

私たちが神に受け入れられる唯一の理由は、自分自身には何の義もないことを認め、へりくだってイエスの義を受け取ったからです。そして、私たちは「イエスの義」に信頼を置いています。正しい者は信仰によって生きるのです。

これは、私たちがほかのクリスチャンたちをどのように見るかで明らかになるでしょう。特に、自分より信仰が弱く見える人や、まだ成熟していないように見える人に対して。自分の人生を義とされた者の人生となりますように。自分たちは神の義を着せていただいた罪人にすぎないのだ、という自覚を映し出すものとなりますように。
もし、まだイエスを受け入れておられない方がいて、そして自分もまた、私たちと同じように、自分ではどうすることもできない罪人だとわかっているなら、ぜひ今日イエスを受け入れ、イエスの赦しとイエスの義を受け取ってください。イエスの義を自分の義としましょう。正しい者は信仰によって生きるのです。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール:cc@tokyobaptist.org
もしくは:https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
(毎週届くメールニュース)
http://t-b-c.us/tbclife

スモールグループ参加申込み

http://t-b-c.us/sgsu

オンライン献金

http://t-b-c.us/give

SG レッスンの PDF

https://gotbc.org/sg2026jp

TBC カレンダー
(TBC のスケジュールが確認できます)
https://tokyobaptist.org/calendar

★クラス 101
教会員になるためのクラス
5 月 17(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

★クラス 402
キリストの伝え方
5 月31(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 を修了したメンバーの方

全クラス申し込み:
https://t-b-c.us/classes

奉仕者募集中!

急募!

1.日本語訳レイアウト&印刷

(女性 2 名募集)

英語のスキルは必要ありません。
・月 1 回、土曜日 16 時に TBC にて作業します。
今見ているこの紙を作成&印刷してもらいます。
ひな形があるので翻訳された原稿をコピーして貼り付け整え、印刷するだけの簡単な作業です。

*スキル:MS Word の操作ができる方。
*TBC の教会員であることが必須です。

2.礼拝メッセージ翻訳

・1 か月半~2か月に 1 度、自宅でできます。スケジュールは都合に合わせて選べます。
英語と日本語が出来る方

3.日本語字幕オペレーター

9 時の礼拝の字幕オペレーターの募集です。
英語を聞いて日本語のページを矢印キーを押して進めるだけの簡単な作業です。
月1,2回。可能な日を月末に調整します。

連絡先:hiromik@tokyobaptist.org